

令和4年度第1回大磯町スポーツ健康会議 議事録要旨

1 開会

事務局 ただいまより令和4年度第1回大磯町スポーツ健康会議を開催いたします。本日はZOOMとの併用会議であり、着座のままご発言をお願いいたします。ZOOMの方、会議中は音声をミュートとしてください。カメラはオンにしてください。質問や音声の場合には、チャットまたはリアクション（手を挙げる）でお知らせください。

2 町長挨拶

町長 本日は第1回大磯町スポーツ健康会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。委員の皆さんには、日頃より町政の各方面にわたり、温かいご理解、ご協力を賜り、感謝申し上げます。本日は、平成29年に策定いたしました「けんこうプラン大磯」の第2期の計画を策定するためにお集まりいただきました。本来ですと、昨年度策定することになっていましたが、未曾有の「健康危機」ともいえる新型コロナウイルス感染症がまん延する中、コロナ禍を見据えた健康増進施策をこの計画に引き継ぐこととなります。「保健」「食育」「スポーツ」の各分野や地域で広くご活躍されています皆さんに策定委員としてご参画いただき、大磯町にふさわしい「健康づくり」の在り方についてご審議を重ねていただくことをお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

事務局 令和2年、3年で交代になった5人の委員の方に本日町長からお渡させていたいただきたいと思います。

委嘱状交付

事務局 委員の皆様に自己紹介をお願いしたいと思います。

各委員自己紹介

事務局職員紹介

事務局 1名の委員が欠席されています。

会長・副会長の選任

3. 諮問

町長から会長に諮問

事務局 諮問書説明。

4. 議題

(1) けんこうプラン大磯（第1期）のふりかえり

事務局説明 資料1、資料1－2に基づき説明

会長 ただいまの事務局の説明にご質問のある方は、いらっしゃいますか。

委員 評価のことで質問なのですが、この評価は、相対評価なのか絶対評価なのかという質問が一つと、いろいろな事業があって、ABCとなっているのですが、伸びている事業があったり、うまくいかなかった事業がB判定のままになっている、目標のところはB判定になっているのですが、そういった評価に関しては客観的にどうなのかなというところなのですかいかがでしょうか。

事務局 それぞれの事業ごとのどちらかと言えば、絶対評価に近い内容で、目指したすがたにどれだけ近づいているかという評価になるので、足踏みしてしまった事業が見受けられると思います。

会長 たぶん評価の仕方が方向なのか、なかなか難しいかというところもあると思いますすがいかがでしょうか。

委員 例えば、いろいろな指導員とかを含める評価が欠けていて、5年間続いている事業が確かあったと思うのですが、それをどうすればよいのかということも対策があまり書かれていないので、少し分かりにくいかなというのがあります。もう一つは、逆にスポーツ関係では、参加人数を増やしている事業が結構たくさんあったのでびっくりしたのですが、逆にそういった事業がコロナ禍になぜ伸びたのかということのも分析していただけると付加事業も可能になるのかと思います。結構スポーツ関係で参加者が増えているところがあって、どうされているのかなということが、どこかにフィードされていれば、悪いところだけではなくて、とは思います。

事務局 委員には、昨年度からたくさん課題になるべきことを、お話しいただいています。やはり仕方とか目標とか、まだまだ改善すべき点は多いかと事務局でも感じております。令和4年度に改定するというよりは、今からご意見を参考に、変えて行くべきところは事業の中で変えさせていただき、また仕方や方法につきましても検討をしてみたいです。また、とても良い分析をしてくださっていますので、新たな視点として、伸びているものについてもっと掘り下げ、事務局としましても確認をしていくべきだと感じております。ご意見を真摯に受け止めて、今後の改善の方向性といいますか、コロナ禍で伸びているというところの視点が欠けていたと感じましたので、ぜひその辺を確認して、早速参考にさせていただきたいと思います。

会長 今のお答えに、私からも一つ加えさせていただきます。今の委員のご意見もそうなのですが、この進捗管理シートの今後の取組と書かれているところが、細かく書かれているところと、割とワンパターンに書いてあるところがあるので、当然コロナの状況で、この先もたぶん影響があるということが予測されますので、どう改善したら良いかということ具体的、前向きに今後の課題として書いていただくと良いかと思いましたが、こういう状況でも先ほどのお話のように増えている原因というか、良くなっているところに関してどのようにそこを促進していくのかといったところも併せてご検討いただけると良いかと思いました。委員よろしいでしょうか。

委員 ありがとうございます。

委員 今、伸びているという前向きな意見があったのですが、どの分野で伸びているのでしょうか。それを参考にもしたいと思いますので。

会長 改善されている、増加していたり、よくなっているところの項目はどこでしょうか。私も読み切れていなくて。委員、どの項目だかご指摘いただけますか。

委員 大量の資料なので今すぐに探せないですが、増えているところがいくつかあったと思います。あまり変わっていないところは先ほど会長がおっしゃったように、それもいくつかあります。

会長 ではどなたかほかの委員で見つけられた方はいらっしゃいますか。

委員 ユニカールが戻ってきているみたいです。223 が 571 に。令和 2 年から 3 年で。ページ数で言うと 78～83 くらいに各項目があるのですが、ユニカールの参加率は倍増しています。

会長 その辺りは分析というか、どういう理由でこういう状況下だけど参加者が増えたとか、そういうところがわかると良いですね。

事務局 ユニカールの教室と体育協会さんによる催しの大会なのですが、令和 2 年度はかなり学校が休みになったり、行動制限があったのですが、令和 3 年度には感染対策をしながらだんだんできるようになり、令和 4 年は少しずつ開催できるようになってきた結果だと思われます。

会長 先ほどの委員からの話もあったように、相対評価なのか絶対評価なのかというところですが、その前の年があまりにもできていなかったのも、結果的に増えてきた、増加したというような評価になったということでしょうか。世の中はまだまだコロナ前にはもちろん戻っていきませんから、先ほどの諮問の中にありましたようにアフターコロナやウィズコロナの中で、目標値をどうしていくのかとか、評価の仕方をどうするかというのも、これからこの会議での検討事項なのかと思います。

委員：この健康プラン大磯の 30 ページ「歯の健康フェスタ」の訂正とご説明させていただきます。町民の方に集まっていたり、口の中を見せていただいたり、そのあとの健康クイズで栄養のお話を聞かせていただいたりしていましたが、こういうコロナという状況で、町民の方がいっぱい集まって、室内でお口の中を見せてもらうというのは非常に難しいということで、この 2 年間中止になったわけです。ただ中止と言っても町の協力で、家でできるお口の中の健康とか、広報活動はさせていただいております。集まって行うことに関しては中止になっていますけれど、書面ということで一応継続はさせていただいておりますので、少し捕捉させていただきしました。

会長 補足のことについてありがとうございます。他に全体的なご質問とかご意見がありますでしょうか。

委員 今回の進捗の管理書では難しいと思うのですが、評価で A とか B とか C というのが出ていて、数値的に実績が示されていたりするのですが、目標のところには数値的な目標が入っているものと入っていないものがある、その場合にこの実績が何に対して A なのか B なのかがわかりにくいと思います。もし成果のところを数値的に示すのであれ

ば、次期の計画の時には標値もこの表の中に入れていただいたほうが、評価がこの数値だからこうなっているのかということがわかりやすいかと思いました。

会長 この件に関しては何か事務局からありますか。

事務局 今、委員がおっしゃった通り、A B Cの評価の仕方については、課題になってきているところですので、進行管理についてもお示しできるようなものを作成し、そちらも含めてご意見をいただけると良いのかなと考えておりますが、いかがでしょうか。

会長 1 ページ目の最初のところにAはおおむね順調に進展している、Bは現状維持とか言葉で書いてありますけれど、今の委員のご意見をプラスすると、例えばおおむね順調にと言っても数値だったら目標達成が80%以上とか、90%以上とか、数値と併用できるところがあればよいのではないのでしょうか。例えば基準を作るというのも一つの考えなのかなと思います。そのあたりも次の計画の時に一緒に検討ということでしょうか。委員いかがでしょうか。

委員 全部示すのは難しいというところがあるのかとは思いますが、せっかく実績が入っているところなどは、目標のところにも数値的に目標があるものは次期計画では書いたほうが、わかりやすいのではないか、クリアに見えるのではないかと思います。

会長 他にいかがでしょうか。

委員 最後に一つだけ質問ですがこの5年間で実際に健康寿命は大磯町では延びたのでしょうか。そういうデータは取られているのでしょうか。もしかしたらそれはこれから出されるのですか。

事務局 健康寿命につきましては、第5次総合計画の中の目標値に示されておりますが、国から毎年出るものではなく、今ちょうど狭間で止まっているような健康寿命の数値であり、直近の数値が出ていない状況で、まだ確認が取れておりません。

委員 神奈川県とか、県単位でたぶん出ると思うのですが、それぞれの市町村で出ているのですか。教えてほしいのですが。

事務局：課長からの情報で県単位で出ています。至急確認させていただいて、追ってお伝えさせていただくようにいたします。

会長 私もちっとわからないです。他の委員はおわかりになりますか。

委員：多分、市町村単位ですと要介護2以上を不健康と定義して、日常生活動作が自立している時間の平均というものを使ってらっしゃるのではないかと思います。そうであれば、毎年、地域ごとで算定することは可能ではないかと。その数値を使うことで仮のほかの指標ですけど、毎年見ることは一応できるのかと言われています。

会長 ありがとうございます。きちんとしたことを、確認をしていただいてまた皆さんに知らせていただければと思いますので、よろしくお願いします。よろしいですか。

委員 分かりました。よろしくお願いします。

会長 それではよろしいでしょうか、この議題のご意見等に関しては。進行管理について色々のご意見をいただいたり、次の議題のことも出ておりましたが、その点はまた補足したり、事務局の方で修正をしていただいて、方向性としてはこの方向性で進めていくということによろしいですか。細かいところはいろいろと幾多のご意見を反映させながら、ということになってきますが、大筋はこれでよろしいでしょうか。

(了承 の声)

ありがとうございます。

(2) けんこうプラン大磯（第2期）について

事務局説明 資料2～資料5に基づき説明

会長 よろしいでしょうか。ありがとうございました。かなりボリュームですが、ただ今のご説明に関して、ご質問やご意見がございましたら挙手をお願いいたします。

今後の計画を作っていくにあたってというようなことにつきましてこういうことを盛り込んだ方が良くとかこういうところを強調したほうが良いというようなことがなにかありましたら是非お願いします。

委員 経過がわからない部分もあるのですが、普段、神奈川県の大磯の行政さんの運動教室とか、健康教室をやらせていただいている中で、やはり感じることで、これだけ多くの事業を町としてやっていらっしゃるの町で町の方で非常に大変だということなんです。せっかく厳密に調査を経年的にやっていただけるので、どこまでをゴールとするのかというのが非常に重要かと思えます。例えばわかりやすいところと言うと朝食の問題、今見ている朝食の問題に関してはほとんど94.5%が毎日食べると回答している。これが平成28年も94.6、今回が94.5、というところで残りの5.5%を無視するわけではないのですが、統計的には外れ値とか、やらない人というのが一定数出てしまいます。これではどこをゴールにするのかということがとても大事なのではないかと。進捗管理シートを見ますと朝食の問題も5年間やってきてBという評価が5年間というところなので、96.5%やっていたらAなのではないかとも思うのですが、朝食は栄養士さんからすると100にしたいというのがあるのですから、それをゴールにしても良いのではないかと、その代わり他のところに注力していくとか、たばこの問題も似たような形になっているのではないのでしょうか。そのあたりを一つ参考にして、また下がってきたらやるとか、そういう形の考え方にしていくというのがより力を注ぐ部分を町としても決めていけるのかなということをおもいました。その辺を考えていくのも良いのかなと考えました。

会長 貴重なご意見ありがとうございます。例えば、朝食を食べたか食べないかというよりは、例えば質の問題で中身のことをどうしていくのかとか、もしかしたら指標をどう変えていくのかというのも一つなのかもしれないですね。

委員 また 未成年の方向けには実行できていても、社会人などには少し方策を落として良いのではないかと、ボリュームを注ぐ世代等ということ、対象者を考えていくこともより大事になってくるのではないかと、その5%がどこにいるのか、男性の働き世代が多いの

か、とかがわかってくるとアプローチの仕方が変わってきて、効率的に予算を使っていけるのかなと思います。

会長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。ご意見・ご質問等なにかございますでしょうか。

委員：もう一つ、今ちょうど伊勢原市でちょうどスポーツ系の調査をしている中で、今年私が提言させてもらって項目に入れたのが、町のやっていることをどれくらい町民が理解しているのか、どれくらい認知されているのか、ということです。ここに関わっている皆さんの思いが届いていなかったりするのではないのでしょうか。例えば伊勢原市さんですと2015年くらいにウォーキングガイドを作って、かれこれ普及しているのですが町民の8割くらいが知らない存在だということが表れてきて、「えっ」というギャップがあったりしました。そういうのを一つの項目に入れてはどうかと。やっぱりやっていることが届いていないというケースがあるので、情報を届けなければいけないということです。情報の手段は伊勢原市の場合は広報が多くて、新しい広報の手段を作って届けやすい広報論というところもこれからはSNSも含めて考えて必要があるのではないかと思いますし、大磯町でも考えても良いかと思います。

会長 ありがとうございます。私も他の自治体の計画策定に関わっていて、実態もいろいろとお聞きすると、せっかく役所の方が発信しているのですが、なかなか伝わっていない。どう情報を伝えるのかというのはどこでも起こりうる課題なのかなと感じたところです。大磯町ならではの発信の仕方や周知の仕方を工夫したり、どれだけ認知されているのかというところを調査するというのを検討していただければと思います。他に、ご意見も含めて次なる計画に盛り込んでいくというような新しい項目など、ありましたら是非ご発言をお願いします。

副会長 この結果報告書のこのアンケートのことを以前、いろいろとお話したことがあったのですが、先ほどの周知の仕方とありましたが、小学生や中学生、一般の町民の方がニーズというのをどこで取得しているのかなと。要はいろいろな事業立てをされますが、私が一番心配しているのがこんな小さな町でこれだけの部署の方でこれを全部やるのかというのが第一の疑問なのです。幅広くやるのが本当に町民のためだというのはわかるのですが、実際にこれをずっと続けていくというマンパワーはどこにあるのかと。このアンケート調査を見ても「何」についてはどうですかという質問があるのですが、もっと町民の方が「何」を一番欲しているのかというところに行き着くような調査が少ないのかなと、このアンケート結果が出た時にお話しました。これから先新たな計画を立てていくということで、実際今のマンパワーでこれだけのことを本当にカバーして、しかもコロナがまだ続く、スポーツ健康課の方がコロナのワクチン接種の最前線に立ってやらなければいけないということを考えた時に、次の5年間の計画策定はウィズコロナでどこまでやるのかなというところが非常に心配なところですので、思い切ってここはニーズも少ないし、関心も低いということであれば削っても良いのではないかと思います。また、逆に伸びているところとか関心がありそうなものにはもっと力を注いでいただいて、町民の健康のためにやっていただければとも考えます。現在の小中学生の子どもたちの体力不足とか、ス

スポーツに関する感知力ということですが、小学校年代は保護者が中心になって地域にあるものとかクラブチームに入ってスポーツをやる子が多いのが現状です。中学校に入ると部活動に入る子が多いですが、中学校に入っても部活動だけでなくクラブチームに入る方もたくさん存在しますので、そこに町がどう関わっていくかというところが一番欠けているのではないかと思います。今中学校の部活動がどんどん地域の中に移行していくような話が国から降りて来ていて、実際来年度から実施となっていますが、全然そこまでは行けていないのが現状であり、逆に行けないと思っています。理由は大磯町という母体にある地域のパワー不足、色々な人がいらっしゃるからご協力はいただけるとは思いますが、いざやりましょうというとなかなかいないでしょうし、それをすべてスポーツ健康課の皆さんが一手に引き受けるのは不可能ではないかと思っています。それが2点目です。

3点目はスポーツ健康課以外の課の連携性はどうなっているのかということは感じています。例えばアルコール依存とか、食育の問題もそうなのですが、そういった家庭の情報は違うところにも流れますね。支援センターとかもたくさん情報があって、横のつながりとか、あるいは他のところと一緒にやっての計画であるとか、そういうことだったらどんどんわかっていくのですが何かここ一つで、みんなで頑張っているというのが、私の範囲でしかわからないので「違います。いっぱい連携しています。」というのだったら構わないのですが、そういうことをずっと感じてここ2年くらい携わらせていただいています。

皆さんが町民の健康とか言う前に皆さんが倒れられたらいけないと思っていますので皆さんの健康も維持しつつ町民の健康寿命が延びていくようにみんなで頑張っていければというふうなところを考えて行ったら良いのかなと思います。

会長 ありがとうございます。今のお話に何かありますか。

事務局 課を越えた横の連携ですが、以前、私は母子保健を担当していましたが、幼稚園、保育園、子育て支援課、母子保健というようなところでは、連携が密にとれていると感じています。互いに妊娠・出産・育児支援というところでうまく繋がっているように思います。今スポーツ健康課で対応している中では、うまくいっているところもあれば、まだ課題が多いところがあると思います。国の方針としては、今後、子ども庁というような形で大きく元の国の組織が変わっていくというお話を伺っている中、本日のZOOM会議では町の担当保健師が参加しているところではありますが、国の大きな方向性の変化に合わせて町がどこまで横の繋がりを濃くできるか、今後色々な点が課題になっていくと感じています。計画も、子育てには「輝きプラン」という計画があって、母子保健でも計画があるようで、少しずつ被っているような計画にもなっていますが、整理しながら関連課関連計画を少し精査してやっていく必要性があると思います。

委員 話される位置によって声が結構籠って聞こえなかったり、とぎれとぎれになってしまったり、せっかくのご意見が聞こえないので、まとめられるのであれば、後で趣旨をまとめていただいたものを資料として配っていただけたらと思います。それからどこまで今日は話をしてどんなことをまとめていけばよろしいのでしょうか。ゴールが見えないので、2期についての説明の振り返りも良いのですが、要点があまりにも絞れていないと思うので、どこからどこを決めて、どうしたらいいかわからないです。

会長 今日は何を決めるかというよりは、初めての会議ですので、いままでの振り返りと今後の説明をいただいての、全体のご意見をいただくというのが趣旨です。必ずしもここまでの結論を出すということではありません。そろそろ終わりの時間が来ています。皆さんからいただいたご意見はこの会議ではまとまりまでいかないようですので、この後皆様意見票に記載いただいて、次の会議に報告をと思います。そのあたりもご了承ください。

(3)今後のスケジュールについて

会長 今後に向けての基本的な考え方をご了承いただいたうえで、色々な報告や今後のことは、本会議や委員の皆様のご意見を反映しながら決めていきたいと思います。

事務局 資料6に基づき説明

会長 ご意見票は今月末までにお出してください。今日のこの会議は時間の限定がございますので、本日意見を出していただいた以外のご意見やご質問等がありましたら、反映していただきます。全体を通して、他にご意見やご質問はございますか。よろしいですか。

(意見質問無)

(4)その他

会長 それでは(4)その他ですが、委員の皆さんから今までのことを含めてでも結構ですし、議題以外のことでご意見等がございましたらここで挙げていただきたいと思います。何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(意見等無)

それでは次回の会議ですが、令和4年11月が会議開催となっています。具体的な日時については事務局からご連絡をいたしますので、ご出席をよろしくお願いします。

会長 以上を持ちまして、第1回大磯町スポーツ健康会議を終了します。今後もお協力のほど、どうぞよろしくお願いします。

5 閉会

以上